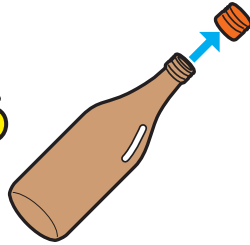


# リサイクルに出す前に あきびんの出し方チェック

あきびんは細かく砕かれてカレット(ガラスびんの原料)になりますが、丈夫なガラスびんをつくるためには、出し方のルールを守ることが大切です。リサイクルに出す前にもう一度チェックしてください！

## 1 キャップをとる



アルミキャップや王冠などが付いたまま出されると、ガラスびんをつくるときに溶けずに残り、ガラスびんの強度を低下させます。

※とれにくいキャップは無理にとる必要はありません。とるときは危険のないよう注意してください。

## 2 中をさっと洗う



あきびんに中身が残って汚れていると、リサイクルの工程で悪臭が発生して非常に不衛生です。

※ラベルははがす必要はありません。カレットにして洗浄する過程ではがれる仕組みになっています。

## 3 あきびん以外のものを混ぜない



●ガラス製の鍋や皿などの耐熱ガラスは、欠陥びんの原因になります。

●茶碗や湯のみ、コーヒーカップなどの陶磁器類は、ガラスびんの強度を大きく低下させます。

●農薬や劇薬が入ったびんは、資源化の過程において有毒なガスを発生させる恐れがあります。

●ガラス製のコップや灰皿、また電球や蛍光灯なども混ぜないでください。

## 必ず とってほしい キャップ



アルミ(写真①)やプラスチック(写真②)などのスクリュー式キャップ、王冠(写真③)やマシキャップ(写真④)など、簡単にとれるキャップは、必ずとってください。

## 無理に とらなくてもよい キャップ



びんの口にはめ込まれているプラスチック製の本体部分(写真⑤)や、ふたと本体が一体化されたプラスチック製のキャップ(ヒンジキャップ)(写真⑥)は無理にとる必要はありません。(商品によっては上ブタの付け根を引き裂くようにして簡単にとれる仕組みのものもあります。)

